

予算説明資料

(令和3年度一般会計補正予算第7号)

総務財政課

令和3年度一般会計補正予算(第7号)

「第1表 歳入歳出予算補正」の関係

■ 歳入

(単位:千円)

科目	補正額	補正後の額	補正額のうち主なもの
14 国庫支出金	46,920	663,368	子育て世帯臨時特別給付金事業補助金(補助率10/10) 44,575 新型コロナウイルスワクチン接種事業負担金(負担率10/10) 2,491
15 県支出金	3,147	297,148	感染症予防事業補助金 1,201 各種システム改修(補助率2/3) 958 風しん抗体検査等(補助率1/2) 243 乳幼児医療費助成事業補助金(補助率1/2) 720 地域商業等支援事業補助金(補助率1/2) 537 農地集積促進事業補助金(補助率10/10) 385
18 繰入金	7,085	133,621	公共施設等総合管理基金繰入金 6,200 かわもと音戯館温水プール大規模改修事業費へ充当 ふるさと思いやり基金繰入金 577 防災意識啓発促進事業補助金へ充当 雇用創出基金繰入金 537 地域商業等支援事業費補助金へ充当
20 諸収入	565	103,836	介護施設利用者負担軽減事業過年度返還金 565
21 町債	300	869,164	【緊防】避難所TV環境整備事業債 300
合計	58,017	4,950,820	

■ 歳出

(単位:千円)

科目	補正額	補正後の額	補正額のうち主なもの
1 議会費	145	56,177	職員の人件費 145
2 総務費	△ 52,542	767,354	財政調整基金積立金の減額 △ 61,944 邑智郡総合事務組合負担金(情報システム課) 3,100 まちごと魅力化センター光熱水費(利用者の増による) 1,629 西公民館土砂災害特別警戒区域対策事業費(別紙参照) 1,258 職員の人件費 860 まげなねっと法定録画機器購入費 748 故障による機器更新(放送後3ヶ月分の番組を保存) 防災意識啓発促進事業補助金 577 ガバメントクラウドファンディング事業(寄附額1,077千円) 低濃度PCB処分費(産業廃棄物処分業務委託等) 560 避難所TV環境整備事業費 327
3 民生費	46,030	1,047,653	子育て世帯への臨時特別給付金(別紙参照) 44,575 国民健康保険事業特別会計への繰出金 △ 1,008 乳幼児等医療費助成事業費(受診件数の増加) 935 過年度介護保険事業補助金の県返還金 336
4 衛生費	52,526	767,988	公的病院等支援費補助金(別紙参照) 50,000 新型コロナウイルスワクチン接種対策事業費(別紙参照) 2,491
6 農林水産業費	830	312,176	農地集積促進事業補助金 385 農地耕作条件改善事業(H29～30年度田窪地区)における地元負担金(事業費の3%)を補助 職員の人件費 141
7 商工費	1,098	152,105	地域商業等支援事業費補助金(別紙参照) 1,074 職員の人件費 24
8 土木費	546	380,303	職員の人件費 546
10 教育費	9,384	453,980	かわもと音戯館温水プール大規模改修事業費(別紙参照) 6,200 中学校学習支援員人件費(勤務時間の増加) 1,415 西公民館2F出窓撤去費 738 亀裂による雨漏り発生のため
合計	58,017	4,950,820	

■ 「第2表 地方債補正」の関係

(単位:千円)

起債の目的	補正額	限度額	補正額の内訳 ※()内は限度額	
道路整備事業	-	80,300	過疎:町道中倉日向線改良事業	- (11,100)
			過疎:橋梁修繕事業	- (6,000)
			過疎:防災・減災事業	- (31,500)
			辺地:町道三原古市線整備事業	- (19,800)
			辺地:町道田原絵堂線改良事業	- (11,900)
合併処理浄化槽設置事業	-	2,800	過疎:合併処理浄化槽設置事業	- (2,800)
消防施設整備事業	-	6,200	過疎:緊急車両整備事業	- (6,200)
一般廃棄物処理事業	-	313,500	過疎:新可燃ごみ共同処理施設整備事業	- (313,500)
保健福祉施設整備事業	-	4,500	過疎:やすらぎ荘非常用発電機整備事業	- (4,500)
児童福祉施設整備事業	-	12,500	緊防:川本保育所避難路整備事業	- (12,500)
診療施設整備事業	-	3,400	過疎:公立邑智病院建設改良事業	- (3,400)
防災施設整備事業	300	8,800	緊防:内水排除設備整備事業	- (5,500)
			緊防:避難所バリアフリー化事業	- (3,000)
			緊防:避難所TV環境整備事業	300 (300)
音楽振興施設整備事業	-	25,000	過疎:音戯館空調整備事業	- (25,000)
自然災害防止事業	-	9,100	自然:林地崩壊防止対策事業	- (9,100)
緊急自然災害防止事業	-	8,800	緊急自然:湛水防除施設整備事業	- (8,800)
災害復旧事業	-	236,800	補助:公共土木施設災害復旧事業	- (55,900)
			補助:農地災害復旧事業	- (27,800)
			補助:農業用施設災害復旧事業	- (11,700)
			単独:公共土木施設単独災害復旧事業	- (140,300)
			単独:農業用施設単独災害復旧事業	- (1,100)
過疎対策特別事業	-	80,000	過疎:ソフト事業	- (80,000)
臨時財政対策債	-	77,464	臨財:臨時財政対策債	- (77,464)
計	300	869,164		

■ 基金の状況

(単位:千円)

種類	前年度末	補正前		今回補正		補正後		年度末見込
		取崩	積立	取崩	積立	取崩	積立	
財政調整基金	614,585	-	67,119	-	△ 61,944	-	5,175	619,760
減債基金	898,379	-	4,750	-	-	-	4,750	903,129
その他特定目的基金	729,681	126,536	32,685	7,085	-	133,621	32,685	628,745
取り崩し型	727,843	126,536	32,684	7,085	-	133,621	32,684	626,906
学校教育施設整備基金	87,660	47,699	38	△ 229	-	47,470	38	40,228
公共施設等総合管理基金	505,332	57,567	29,199	6,200	-	63,767	29,199	470,764
ふるさと創生事業積立金	47,202	7,151	15	-	-	7,151	15	40,066
ふるさと思いやり基金	35,226	9,736	11	577	-	10,313	11	24,924
雇用創出基金	10,000	2,000	1,012	537	-	2,537	1,012	8,475
過疎地域自立促進基金	1,414	-	1	-	-	-	1	1,415
定住促進基金	9,878	-	2,401	-	-	-	2,401	12,279
江の川流域活性化基金	10,584	-	2	-	-	-	2	10,586
子ども・子育て支援基金	9,890	2,168	3	-	-	2,168	3	7,725
森林環境整備基金	10,657	215	2	-	-	215	2	10,444
果実運用型	1,838	-	1	-	-	-	1	1,839
ふるさと・水と土保全基金	1,838	-	1	-	-	-	1	1,839
合計	2,242,645	126,536	104,554	7,085	△ 61,944	133,621	42,610	2,151,634

西公民館土砂災害特別警戒区域対策事業【新規】

補正予算額：1,258千円

1 現状と課題及び必要性

「災害対策基本法」上の現状と課題	「土砂災害防止法」上の現状と課題
<ul style="list-style-type: none">○土砂災害警戒区域外などの安全な施設を指定するよう「指定緊急避難場所の指定に関する手引き」に規定。○しかしながら、他に指定できる施設がないため、江の川洪水及び土砂災害時の避難所に指定。○安全であることが最重要だが、災害の事象によっては危険な場所に避難せざるを得ない現状。	<ul style="list-style-type: none">○県が土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定（R2.3.31）。○建物の一部が土砂災害特別警戒区域の区域内に。 <p>※土砂災害警戒区域（イエローゾーン） 土砂災害が発生した場合に、住民等の生命に<u>危害が生じるおそれがある</u>と認められる区域。</p> <p>※土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン） 土砂災害が発生した場合に、<u>建築物に損壊が生じ住民等の生命に著しい危害が生じるおそれがある</u>と認められる区域。</p>

【必要性】
<ul style="list-style-type: none">○近年の気象状況を踏まえると、土砂災害特別警戒区域対策を実施し、安全な避難所の確保が必要。○対策については①法面整備②建物補強があり、効果的な対策を検討するため、調査業務を実施。○今度中に方向性を決定し、来年度予算で対策工事を実施予定（令和5年出水期までに完了）。

2 目的

- 土砂災害特別警戒区域対策の実施方法の検討。
- 内容は法面整備又は建物補強の方向性の決定。

3 概要

- 法面整備調査：測量、地質調査、概算工事金額の算出
- 建物補強調査：外力の算出、補強計画の検討、概算工事金額の算出

4 補正予算額

1,258千円

【歳出】

- 調査業務委託料

1,258千円

子育て世帯への臨時特別給付金（先行給付金）給付事業【新規】

補正予算額：44,575千円

1 現状と課題及び必要性

○国が実施する、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」のひとつ。

2 目的

○長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により苦しんでいる子育て世帯を支援。

3 概要

○0歳～高校3年生までの子どもに1人あたり10万円を給付。
※児童を養育している者の年収が960万円以上の世帯を除く。

【対象見込み数：440人】

児童手当受給者分：240人

高校生等分：100人

公務員分：100人

4 補正予算額

44,575千円

【歳入】

○子育て世帯臨時特別給付金給付事業費補助金（国庫） 44,000千円
○子育て世帯臨時特別給付金給付事務費補助金（国庫） 575千円

【歳出】

○子育て世帯臨時特別給付金 44,000千円
○職員手当等（時間外勤務手当） 100千円
○消耗品費 300千円
○通信運搬費 126千円
○手数料 49千円

公的病院等支援費補助事業【拡充】

補正予算額：50,000千円

1 現状と課題及び必要性

- 町内で唯一病院機能を有する社会医療法人仁寿会加藤病院は、経営面で厳しい過疎地域において、地域医療拠点病院として、巡回診療をはじめとしたへき地医療や、慢性期医療及び在宅医療を支える在宅療養支援病院として当該地域の医療を維持。また、従事者数（約220人）は町内最大で、雇用創出面でも大きく貢献。
- 町としても、不採算地区に所在する中核的な病院機能を維持していくため、公立病院に準ずる公的病院等として、平成25年度より国による特別交付税措置による財政支援を実施。
- 一方で、新型コロナウイルス感染症の影響が病院運営にも及んでおり、特に医療現場における感染予防対策の徹底やコロナウイルスワクチン接種といった、新たな業務による負担も増加する中で、通常診療等、病院機能を維持。
- こうした状況下において、国による財政的支援拡充に呼応して、町として町内医療提供体制の確保を図っていくことが必要。

【公的病院等支援費補助金実績内容（単位：百万円）】

年度	補助金額	内一般財源	使途内容
H25	100	0	電子カルテ(93.3百万円)、ヘルプモーションカー(5.4百万円)他
〃26	100	0	シグナインシステム構築(42.0百万円)医師確保(58.0百万円)
〃27	100	0	空調工事他設備整備(37.7百万円)医師確保(62.3百万円)
〃28	80	16	医師確保(80.0百万円)
〃29	80	16	医師確保(80.0百万円)
〃30	80	16	電子内視鏡整備(10.0百万円)医師確保(70.0百万円)
R1	80	16	耳鼻科ユニット機器他整備(13.7百万円)医師確保(66.3百万円)
〃2	80	16	医師確保(80.0百万円)

2 目的

- 過疎地等の経営条件の厳しい地域の医療を担う不採算地区病院等について、今般の新型コロナウイルス感染症のまん延が続く中においても、その機能を維持し、当該地域における地域医療提供体制を確保。
- 令和3年度において、不採算地区病院等への支援に対する特別交付税措置が拡充されたことに伴い、当地域のへき地医療をはじめとした地域医療を支える続ける社会医療法人に対する財政的支援を拡充することにより、医療提供サービス体制を維持。

3 概要

- 特別交付税措置を活用した社会医療法人仁寿会加藤病院（不採算地区病院等）への補助。
1床あたりの基準額単価の引き上げによる補助額増額
@1,706千円×病床数81床≒130,000千円（内当初予算計上額：80,000千円）

4 補正予算額

50,000千円

【歳出】

- 公的病院等支援費補助金 50,000千円
（内特別交付税措置額80%） (40,000千円)

令和3年12月10日

健康福祉課

新型コロナウイルスワクチン接種対策事業【継続】

補正予算額：2,491千円

1 現状と課題及び必要性

- 令和3年3月から医療従事者等優先接種者の接種を開始。4月から町内の医療機関等従事者の接種を開始し、順次接種を進め、7月～8月1日には土日接種を実施し、10月末をもって接種を希望した全ての方の接種が完了。
- 12月から追加接種(3回目)を開始し、重症化や死亡リスクを軽減させる効果を持続。
- 今回、次のとおり国の方針による制度改正と追加接種(3回目)の今年度負担分を計上。
 - ・通常接種の対象年齢の変更：12歳以上(当初16歳以上)(@2,277円/回)
 - ・時間外や休日時の接種で費用加算 (@2,343円/回)
 - ・追加接種での医療従事者、高齢者等福祉施設入所者及び従事者の接種費用

2 目的

- 町民の接種費用を負担し、新型コロナウイルスへの感染の抑制と重症化の予防。

3 概要

- 新型コロナウイルスワクチン接種の費用負担

[通常接種分] 2,930名(12歳以上)×2回(接種回数) 13,343千円

[休日加算分] 360名×2回 1,687千円

[追加接種(3回目)分] 500名×1回 1,139千円

計 16,169千円

内現計予算額 13,678千円

4 補正予算額

2,491千円

【歳入】

- 新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金 2,491千円

【歳出】

- 新型コロナウイルスワクチン接種委託料 2,491千円

地域商業等支援事業【継続】

補正予算額：1,074千円

1 現状と課題及び必要性

- 本町の商業機能は、経済状況の変動、事業者の高齢化・後継者不足、空き店舗の増加や周辺設備の老朽化等により衰退傾向。
- 商業機能の維持・向上に取り組む事業者を支援し、地域商業の振興及び経済活動の活性化を図ることが必要。

2 目的

- 商業機能の維持、向上に取り組む事業者を支援（商業環境整備事業）。
 - ・補助事業者：川本町街路灯管理委員会
- 弓市地区に設置されている街路灯の照明器具をLED化し、安定的で長期的な運営を図るとともに、各事業所の看板灯の整備、防犯灯としての機能を高め、夜間利用客の利便性を向上。

3 概要

街路灯整備事業費概算（税込）	9,164千円
補助対象経費（税抜）	8,330千円
補助金額（対象経費1/2）	4,165千円
交付決定済額（小売業等開業支援事業）1件	909千円
計	5,074千円
内現計予算額	4,000千円

4 補正予算額

1,074千円

【歳入】

- 島根県地域商業等支援事業補助金 537千円
- 雇用創出基金繰入金 537千円

【歳出】

- 地域商業等支援事業費補助金 1,074千円

「かわもと音戯館」温水プール大規模改修事業【新規】

補正予算額：6,200千円

1 現状と課題及び必要性

- 平成10年の開館から22年が経過し、建物及び設備の老朽化が顕著。特に温水プールは、これまで改修を未実施。
- 温水プール運営を継続するためには、安全性の確保と衛生環境の維持に向けた大規模改修が不可欠。
- 改修を要する箇所
 - ①天井
コンクリート亀裂から塩素を多く含む湿った空気が入り込み、内部の鉄筋に錆びが発生。亀裂部分からコンクリート片がプール内に落下。
 - ②ろ過設備
耐用年数（20年）超過。ろ過能力不足による水中の視認不良。
 - ③プール槽の内壁
塗装の劣化により手で触れた部分が溶出、水質に影響。
 - ④プールサイド床
タイル張りのため滑りやすく、転倒防止措置が必要。
 - ⑤プール施設壁面
内外の気温差による結露等で壁面にコケが発生。断熱対策が必要。

2 目的

- 安全性の確保と衛生環境の維持により、安定した温水プール運営を実現。
- 「かわもと音戯館」の長寿命化。

3 概要

- 温水プール改修工事について、①入札設計図書作成 ②改修工事設計。
※躯体状態の把握のため、コンクリートコア抜きによる劣化状況等を調査の上、適切な方法による設計を実施。
- 今後のスケジュール
 - ・令和3年度：改修工事設計業務
 - ・〃 4年度：改修工事（監理業務）

4 補正予算額

6,200千円

【歳入】

- 公共施設等総合管理基金繰入金 6,200千円

【歳出】

- 入札設計図書作成業務委託料 700千円
- 設計業務委託料 5,500千円